

定通振会報

長野県松本筑摩高等学校

定通振興会報

令和2年(2020年)

2月20日発行 第50号

楽しい子育て

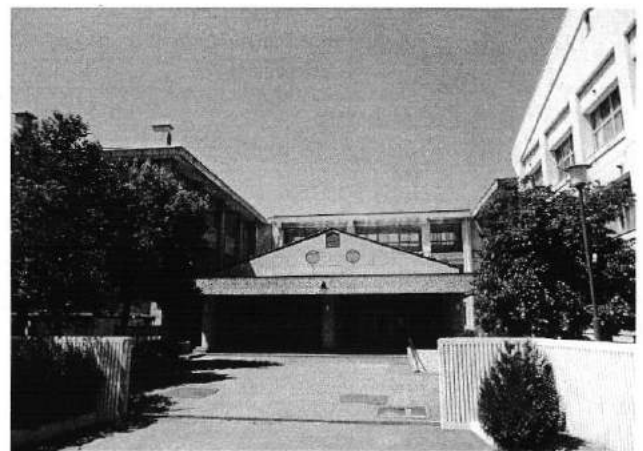
教育振興会会長 鳥羽 雅代

卒業を迎える皆さん、おめでとうございます。これから、社会人になる人、進学する人、それぞれですが新たな一歩の始まりです。前を向いて進んでいってください。保護者の皆様、ご家族のご卒業おめでとうございます。一つ肩の荷がおりのかなあとと思います。でも、子どもはいくつになっても子どもです。まだ、子どもと向き合っていってほしいと思います。

私も3人の子どもの親です。会社には子どもと同じ年頃の子もたくさんいます。会社でその子たちと話をしたり、行動を見ていると「ん？家の子とちょっと違う」と思うところがいくつかあります。「えっ、おかしい」とか「えっ、何で？」と周囲の人に言われたことはありますが、私は3人の子どもを育ててきて、間違っていると思ったことはありません。私は子どもたちを伸び伸びと、そして自分がやりたいこと、行きたい道を進んでほしいと思って今まで育ててきました。その中で、決して「勉強しなさい」とは言った覚えはありません。おかしいと思われるかもしれませんが、今では3人とも素直に育ってくれたと思います。年齢が離れていることもありますが、3人とも仲が良いです。小さいときからケンカというケンカはほとんどありません。特に、上の娘と下の子は今でも仲が良く、上の娘は下の子の成人式には行けないと言っています。なぜなら、「大泣きしてしまうから」とのこと、話をしているだけでもうるうると…。私は3人の子どもを産んで良かったと思います。苦労もありましたが、私にとって3人は宝です。

保護者の皆様にとっても、子どもたちは宝だと思います。その子どもたちが、これから新しい道を歩んでいきます。親としていつも、いつまでも見守ってってください。そして、もし悩んだり苦しんだりしていたら、そばにいて、相談にのってあげてください。私の上の子は33歳ですが、今でもいろいろ迷ったりすると、「ねえ、母さん聞いて」と来ます。私もまだまだ子どもたちを見守っていかないとけないと思っています。

子育ては難しいけど、ものすごく楽しいですね。皆様も一緒に楽しく子育てしましょう。



One For All All For One

学校長 太田 道章

日頃より教育振興会会員の皆さまには、本校の教育活動に多大なるご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。はじめに今年度の活動について振り返ってみます。

7/20（土）に、保護者・生徒・職員合わせて約80名の皆様にご参加いただき、今年で5年目となる環境整備作業を行いました。今年は、暑さを考慮して7月の実施としました。1棟前の生垣の剪定は正面の樹木を中心に不揃いで生い茂っていたものを丁寧に整え、中庭作業は池の掃除を中心に行いました。ご参加いただいた皆様大変ありがとうございました。

8/25（日）には、第50回くれき野祭が開催されました。好天に恵まれ、一般公開では保護者、卒業生、子供連れの家族など500人以上の皆さまにご来校いただきました。振興会で出店していただいた焼きそば店は、今年で5年目となりますが、用意した420食を完売しました。多くの皆様にご参加いただき、何よりも楽しんでやっていただいたことをうれしく思います。

さて、今年は9月から10月にかけてラグビーワールドカップが日本で開催され、大いに盛り上がりました。私は全校集会でこれに関連して、「One For All All For One」という話をしました。これは「一人はみんなのために、みんなは一人のために」と訳されますが、ラグビーのプレイスタイルをよく表していると思います。ラグビーの1チームは15人で、フォワードが8人、バックスが7人で構成されています。フォワードはみんな体の大きな選手で、前線でボールをキープして突進していきます。スクラムを組むのもフォワードの役割です。一方バックスの選手は足が速く、後方に展開してボールを持って走り、パスしながら前進していきます。それぞれの選手がそれぞれのポジションで自分の得意なプレーを活かしながら、チームのために力を合わせてゲームを運んでいきます。

もし相手選手のタックルを受けて一人が倒れたときには、倒れた選手のところに素早く味方の選手が助けに入り、ボールを相手に渡しません。チーム全体が一人のプレーを無駄にすることなくいかに助け合うことができるかでゲーム展開が大きく変わってくるのです。

個人の力の結集がチームの力となりますが、逆に個人は周囲から支えられていることも同様に大事だと思います。

鉛筆をにぎるこの手

夜間部教頭 松田 章利

2024年上半期、紙幣のデザインが変わる。今、福沢諭吉について再考してみた。

オランダ語の通訳として身を立てようとした福沢諭吉が西洋を理解し、日本の近代化を求め、咸臨丸ののってアメリカに渡ったのは、1860年、26歳の時であります。幕末、維新の世にあって、西洋の文物に触れた福沢諭吉の考えが、以降の日本を近代社会へと転換していく上で、大きな役割を果たしたのは歴史が物語るとおりであります。

彼は『学問のすすめ』という書物の中で、こんなことを言っております。

「万人身と心との働きをもって、衣食住の用を達し、自由自在、互いに人の妨げをなさずして、この世を渡る」

人は「その身と心の動き」で「この世を渡っていく」、現代ではごく当然の考えですが、形を変えても堅固な身分制度は依然として残る明治という時代において、この考えは画期的なものと言えます。

人は、身分や生まれ育ちによってこの世を生きているのではなく、自ら「身と心」で「世を渡って」いくものとの認識は、まさしく現代にも通じる日本社会の近代化を推し進めた重要な力なのです。ある著名な政治学者は、この「身分・生まれ」を意味する「である自分」から、身と心で世を渡ろうとする「する自分」への転換こそが、あのような短い時間での日本の近代化を可能にしたのだと分析しています。

では「万人」が「身と心の動き」をもって「自由自在」に「この世を渡る」ために必要とされるものは何か。

彼はこのあと、人間が社会に生きていく上での「学ぶ」ことの重要性、必要性を指摘しています。人間は「学ぶ」ことによって、進歩発展し、学んだ「知」によって生きていく、「自由自在」に「この世を渡る」ことが可能と言います。諭吉の考えた「学ぶ」こと、「学問のすすめ」は、決して、現在、巷間にあふれる「学歴」の偏った尊重や「学校のすすめ」ではありません。人間としての「知」の習得、「知」の探求を万人にすすめているのです。近代日本では多くの人々が学び、その知によって社会を変革してきました。

諭吉の時代のキーワードは「近代化」でありました。今の時代のキーワードはいろいろと言われていると思いますが、時代と人間との関わりは、諭吉の生きた時代と基本的に変わるものではないと考えます。鉛筆をにぎるこの手が必ずや社会を変革するでしょう。より良き社会の実現のために。

感謝

教育振興会副会長 上川 実千代

先日、古本屋へ行った時の事です。一冊の本に目が留まりました。気に入り手に取っては棚へ戻すという行為を何度も繰り返し、最後は購入しました。その本は、スキー事故により首から下が全く動かなくなってしまった方の奇跡の実話。

—「口」は人を励ます言葉や

感謝の言葉を使うために使おう—
という著者の言葉が心に残っています。

しかし、本に出会ったその日の夜に私は自らの言葉で人の心を傷つけてしまったのです。読み返しては傷つけてしまった方の気持ちを考えて涙が止まらず、全く眠ることもできず朝を迎えました。前日からずっと娘が間を取り持ってくれたお陰で翌日の夕方には相手の方と直接お会いすることができ、嫌な思いをさせてしまった事を謝ることができました。会ってくれた相手の方の懐の深さを感じたと同時に支えてくれた娘にも感謝しています。同じような事が起こらないよう、今度は私が励ましたりできるようになろうと思います。

話は変わりますが、我が家3人の子供の面倒を見てくださった校内外の皆様には多大なる感謝をしています。生徒会にもそれぞれ関わっていたようで、この原稿を書くに至っても手助けをしてもらいました。子供達が成長できたのも貴校のご助力があってのものです。社会に出てSST等の授業をやってよかったと言っていました。

卒業生の皆さん、社会人が役に立ったと言っているので大丈夫！安心して旅立ってください。ご卒業おめでとうございます。

感謝

教育振興会副会長 望月 仁美

緊張して迎えた入学式から早いもので4年の月日が経とうとしています。この春卒業を予定している息子の少し大人びた姿を見てみると、感慨深い気持ちになります。

「大丈夫！変わるから!!」

筑摩高校入学前後、それまでのことを思うと不安な気持ちでいた私に先輩ママたちがそう言ってくれました。本当にその言葉通り、息子は友達や部活の仲間に恵まれ、先生方に見守られながら、温かな雰囲気のある筑摩高校で楽しくのびのびと自分らしく毎日を過ごすことができました。

私も入学式の日引き受けた役員でしたが、4年間本当に楽しく活動させていただきました。環境整備作業やくれき野祭での焼きそば出店、そして今年度はいくつかの研修会に参加する機会もあり、他校の様子を知ることができましたし、色々なことを学ばせていただきました。

子供が高校生になると学校に来る機会も少なくなりますが、普段なかなか話す機会のない先生方や保護者の皆さんと、作業や文化祭、部活の応援等で情報交換や色々な話をさせていただき、学校の様子も知ることができました。辛かった時には温かい言葉もかけてもらい本当に嬉しかったです。

息子にも私にも多くの出会いがあり、成長させていただいた4年間でした。筑摩高校の先生方、鳥羽会長、上川副会長、保護者の皆様、支えてくださった全ての方々に感謝申し上げます。



くれき野祭出店準備打合せ

保護者の活動

学舎の環境整備

教育振興会施設委員長 笹岡 俊英

まず始めに、施設委員長として誠に力不足であり、先生方、又役員皆様に多大なご迷惑をおかけし、長としての役割ができませんでした事、誌面をおかりしお詫び申し上げます。

さて、今回の整備作業では、昨年に引き続き、校舎南側の垣根と植込みの手入れ作業の実施ということで、保護者の皆様、又一部の生徒の皆さんと共に先生方のご協力を得ながらの作業となりました。子供達の学舎であるがゆえ、保護者の方々も熱心に作業に取り組まれる姿がとても印象に残っています。特にお母様方の垣根に絡み付いた「つる」の撤去作業では男性顔負けの力強さがありました。継続は力なりと申しますが、年々ご参加頂ける保護者の方も増え、施設委員会としては大変心強く感謝申し上げる次第です。子供達の勉強やスポーツに励まれる場の環境整備に更に関心を持っていただきながら生徒の皆さんはもちろんのこと、校長先生をはじめ諸先生方と共に「One team」と言えるような成果を上げていけるよう、続けていけるようお願いいたします。作業に御参加頂きました全ての方々に感謝申し上げ、生徒の皆さんが気持ちよく通える学舎として、環境整備をこれからも続けていきますので、多くの皆様にこの作業に御理解を頂きながら、今回以上に多くの方々に御参加していただきたいと思っております。



くれき野祭って素晴らしい!

教育振興会教養委員長 廣田 純子

教育振興会教養委員会では、くれき野祭での焼きそば出店を今年も行いました。

2年間の経験があるので、何とかなるだろうと気楽に考えていたらとんでもない。保健所の規制が厳しくなり、今までやっていたことが出来なくなるのが判明しました。「えー、どうして私の時に。」と一瞬思いましたが、そこは楽観主義の私。新しい方法で保健所の規制をクリア！思いがけず作業の効率化が進むことになり「怪我の功名」。いやー、保健所に感謝です。

今年は多くの方に参加頂き、交代で発表や展示を見に行っていました。保護者同士で情報交換ができるのも毎年の楽しみの一つです。

学校見学を兼ねて、くれき野祭に行き焼きそばを購入したのが3年前。保護者が文化祭に協力しているところを見て「いい学校だなあ」と思いました。その1年後、販売する側になり、3年後委員長にまでなるとはあの時は思いませんでした。子どもが4修を選んでくれたお陰で、来年もくれき野祭に関われることが本当に嬉しいです。

この有意義な活動が今後もぜひ引き継がれていくようお願いいたします。来年度も多くの保護者の方に参加していただき、くれき野祭を盛り上げていただきたいと思っています。



保護者の課外活動

★★今、ハマっていること★★

今年度より教育振興会に、広報委員会が創設されました。活動内容もしっかり 決まっておらず手探りでスタートでしたが、昨年の「くれき野祭の様子をスマホで撮ろう」プロジェクトを行うなど、委員の皆さんのアイデアで少しずつですが動き始めることができました。今後も自由な発想での校内外の広報活動、またそれが保護者同士の親交の一助となるよう、ご意見を伺いながらゆっくり活動していこうと思います。さて、このページでは広報委員の「今、ハマっていること」を寄稿してもらいました。仕事や家族との時間の中などに見出した委員のマイブームをご覧ください。今後も教育振興会広報委員会をどうぞよろしく願います。随時委員を募集中です！ お気軽にお問い合わせいただき、ご参加ください。
(広報委員長 廣田謙一)

☆私の仕事が調理師なので常に自然と料理のことにはまっています。高校を卒業して松本にある有名レストランに就職しました。今になって、最初の就職場所がそのレストランでよかったと思っています。最初はお客様のサービスから学び、1年後ようやく調理場に入れてもらうことができました。厨房に入って、1年間サービスを学んだことは無駄ではなかったと気付きました。卒業生の皆さんも社会に出てすぐに好きな仕事に就けるとは限りません。忍耐強く夢に向かって頑張ってください。皆様の夢が叶うことを願っています。

(4年次 M.Y)

☆今、「大相撲」にハマっています。最初は「御嶽海」の応援から。郷土力士が幕内にいるって、面白いですね。いろいろな力士を見ているうち、それぞれの個性がわかってきて、どんどん轟頂のお相撲さんが増えてきました。炎鵬や石浦などの小兵力士、琴奨菊や玉鷲といったベテラン勢もいいですね。テレビ観戦ばかりでしたが、今年の新春初場所、ついに両国国技館観戦デビューしました！ 家内と二人ですので椅子席ですが「すも友」を増やし、次は4人掛けの桝席を狙いたいです。

(3年次 K.H)

☆私は人生を楽しむ事にハマっています。ピタゴラスの世界観に、ユングの心理学もハマりました。お陰様で人生を楽しむこと=後悔しない生き方となりました。最近では、海外学習アドバイザーの資格取得のため、バルト三国に行ってきました。リトアニアでは、IT先進国の小学校～大学までの私立一貫校を訪問し、教育への考え方の違いなど刺激を受けて帰ってきました。どんな事にも興味を持ってみると、ワクワク楽しみが倍増します。

(2年次 Y)

☆しいて言えば、鶏むね肉料理でしょうか？ 私の作る料理といえば、ワンパターンで代わり映えしない料理でしたが、最近になって20歳の娘が料理に関心を持つようになり、料理本を買ってきたり、スマホを検索したりしては新しい美味しい料理を作っているのに刺激されて、よっ私もという

ことになり、家計にやさしい鶏むね肉料理を検索しまくっています。意外にもしっとり柔らかかに仕上がりますよ!!
(1年次 M)

☆読書や食べ歩きなどハマりたい事はたくさんありますが、それらはもう少し後のシルバーライフに取っておいて、今は目の前に置かれている事に一生懸命ハマろうと思っています。それは、仕事と子育てと孫育てです。11年前に主人をガンで亡くしました。当時上は高校2年生、下は8ヶ月で5人の子どもとともにがむしゃらにやってきました。あっという間の11年で子供達もすっかりと成長し、孫も3人。末娘と孫達とお散歩する時間は実に気持ちいいです。仕事も忙しいですが、この忙しいリズムが心地よいのです。目の前の事にハマらせてもらっている、今がきっとすてきなシルバーライフなのかもしれませんね。(4年次 M)

☆最近、私達親子が一緒に時間を過ごすのは、NBAのバスケットボールの試合をテレビで観戦する時です。息子は小学校からバスケットボールを続けています。私も息子と一緒に八村塁選手の試合を見るうちに、試合観戦がとても楽しみになりました。八村選手がダンクシュートで得点を決めるときなど2人で「ウォー」と声を上げて喜んでます。子どもと同じ事に興味を持って、同じ時間を一緒に過ごせるというのはとても幸せな事だと思っています。そして、八村選手とまでは行かなくても、息子が未来に自分なりの夢を持って進んで行ってくれると良いなと思っています。

(1年次 M.K)

☆私がハマっていることは『紙』です。百均のお店に行くと様々なデザインペーパーが折り紙コーナーに置かれており、美しい絵柄や思わず笑ってしまうようなイラスト、紙の素材も様々で、手に取って思わずウキウキしてしまいます。それらの紙を使ってオリジナルの袋を作ったり、封筒を作って、友人にちょこっとお菓子をおすそ分けしたり、ファイル作ってみたりしています。生きてると心が喜ぶ事に突然出会えると、今の世代になってやっとしみじみと思っています。
(2年次 E.T)

生徒の活動

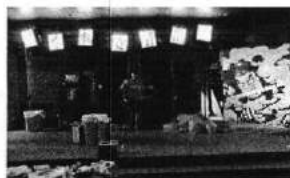
夜間部くれき野祭 概要

生徒会顧問団

2019年度は、第50回のくれき野祭であった。記念すべきこのイベントを、夜間部としてどう盛り上げるかということで、古庄会長を中心に話し合い、全体テーマ「Memories」に合わせかつ「夜間部らしさ」を表現できる取り組みをしようということになった。

①電飾モザイクアート

今年は、生徒全員で制作するモザイクアートの伝統を引き継ぎ、「夜に輝く」ために、電飾を施した「ねぶた」風のモザイクアートを作った。責任者の2年渡邊は夏休みから作業にかかった。生徒全員のモザイク画が文化委員の作業で電飾枠に設置され、前夜祭のパーベキューのさなか点灯式が行われた。



②タピオカジュース販売

昨年からの伝統を守るとともに、企画運営決算ま

でを生徒の手で行うことを追求した家庭科の碓田先生の指導の下、責任者3年原口を中心に係が奮闘した。本格台湾キャッサバ100%のタピオカジュースは大好評だった。



③マンガイラスト部

タピオカジュース販売とタイアップした部長の3年山本は、副会長としての様々な仕事の重複する中、イラスト創作・レジン作品製作、展示販売と大車輪の活躍を見せた。

④授業展

書道・家庭科の授業で製作した作品を展示した。



⑤癒しの昭和展（職員展）

文化祭テーマ「Memories」に合わせて、昭和の歴史やレトロをテーマに夜間部職員が物品と知恵を出し合い企画展示を行った。

100枚以上の昭和のLPレコードを展示、希望により「昭和な」ステレオセットで再生視聴する企画は好評を博した。



挑戦と失敗

通信制生徒会長 福留 真琴

本年度生徒会では「新しいことに挑戦」をモットーに活動をしてきました。そんな生徒会の活動をご紹介します。

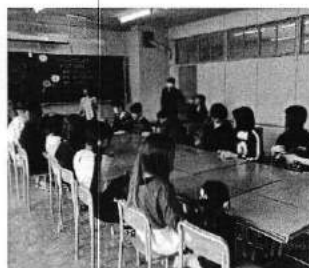
4月、10月には新入生へ向けたプチスクーリングというものを行いました。毎年行なっているこのプチスクーリングでは、レポートの出し方や進め方をみんなで確認をします。今年はただ座ってレポートを進めるのではなく、ちょっとでも交流の場になればと自己紹介型のレクレーションを行いました。先生方にも参加をして頂き、良い雰囲気を進めることができたので良かったです。

次に6月に行った運動会。昨年人気だった種目は

そのままに、新しく2つの種目を追加して行いました。息抜きに、と企画したお菓子つかみりレーは、チームで協力をして決められた分量のお菓子を袋に詰めるといもの。ゲーム感覚で楽しむことができ、詰めたお菓子はみんなで分けたりと、来年も行うのであれば改善が必要な部分もありますが、やってみて良かったなと思った競技でした。

最後に、通信制文化発表会での生徒会企画。二回目となる本年度は去年と違うことをしようと、お絵描き伝言りレーを企画し行いました。テーマにそって回答者に伝わるよう、一人一筆ずつ描いていきます。パワーポイントを使いルール説明をしたりと工夫をし、役員も楽しんで行うことができました。

新しいことに挑戦をしたぶん失敗も多くありましたが、新たな発見や次に活かせる経験を得ることができました。来年度の生徒会ではこの失敗や経験を活かし、よりよい活動が出来るよう願っています。



書道部の活動

書道部部長 古牧未来

今年度の活動は、4年次生4名を中心に多くのことに挑戦することができました。

最も力を入れたのは、くれき野祭での書道部展です。準備には時間を掛け、5月頃から始めました。まずは半切サイズの作品に取り掛かり、畳半分程の縦長の紙に中国の古典を臨書しました。千五百年程前の石碑の文字で、長い間名品として伝わってきたものです。大きな紙に負けないよう、千五百年の歴史に

圧倒されないよう、何度も何度も書いて仕上げました。次に小品を制作しました。部員それぞれが言葉を選び、構成を考えた創作です。イメージを表現する過程はとても難しいのですが、楽しい時間でもありました。くれき野祭の表彰では、振興会長賞を頂くことができて感激しました。ありがとうございました。

他に、くれき野祭の団扇の文字や、生徒会誌の題字も部員が揮毫しました。また、長野県高等学校書道展や島立地区芸術文化祭に出品したり、校内で七夕イベントを企画したりしました。

後輩部員が少ないため、これらの活動のリレーが今後の課題です。卒業後も、遠くから応援したいと思っています。



躍進の年

軟式野球部部長 野渡 和也

松本筑摩高校軟式野球部は2019年、9年振りに定通の全国大会に出場する快挙を成し遂げることができました。

ただ9年振りに全国大会に出場したのではなく、そこに至るまでに様々な問題が野球部にありました。なかなか皆集まることができず、練習日を増やすことができなかつたり、途中で退部して人数が大会前に減ってしまったりといろいろありましたが、その中でも今回は、部の人数についてここに書き残そうと思います。私達、野球部は全国出場を決める大事な試合の前に人数が2名程足らず悩みを抱えていました。ですが、バスケットボール部の4年生3人が助っ人として参加してくれました。さらに、大会一週間前の練習・練習試合にも積極的に参加してくれたり、全国が決まったあとも、全国大会に参加してくれました。自分達のバスケットの試合もあるのに協力してくれた3人には感謝しかありません。ありがとうございました。

次に大会の成績について振り返りたいと思います。全国大会では、悔しいですが、1回戦で大敗を喫しました。ですが、北信越の大会では、長野県代表と

して4連覇を達成することができました。

北信越の大会では、長野工業高校とさくら国際高校と合同で長野県選抜として戦い抜きました。この大会でも普段環境の違うところで活動している人達と協力して、親睦を深めながら勝ち進めました。非常に私達にとって良い経験ができたと思います。

最後に、2019年の私達野球部は、確かに苦しかったですが、最後は大会に出たり、勝ったりと無事に幕を閉じることができました。ですが、2020年は、3年間共に練習や試合を戦ってきた4年生が寂しいですが引退し、部員が3人という危機的状況に陥ってしまいました。

私を含め部員3人は部を守りたい思いで日々いろいろ悩んで過ごしています。なので、もしこの文章を読んで頂けたら、せめてこっそりと応援だけでもして頂けたら幸いです。



令和元年度 定通体育大会結果

全国高等学校定時制通信制体育大会

- **軟式野球**
 明治神宮野球場 (8/13 ~ 16)
 1回戦 1 - 13 星槎国際広島 (広島)
 1回戦敗退
- **陸上競技**
 東京都: 駒沢オリンピック公園総合運動場
 (8/9 ~ 12)
 男子1500予選 宇都宮拓磨 5分51秒44
- **卓球**
 東京都: 駒沢オリンピック公園総合運動場屋
 内球技上 (8/5 ~ 8)
 女子個人 小松美波 2回戦敗退
- **バスケットボール**
 東京都: 駒沢オリンピック公園総合運動場内
 体育館 (7/28 ~ 8/1)
 男子 1回戦 36 - 68 向陽台 (大阪)
 1回戦敗退
- **サッカー**
 静岡県: 清水ナショナルトレーニングセン
 ター他 (8/1 ~ 6)
 ベスト16
 1回戦 4 - 0 飛鳥未来札幌 (北海道)
 2回戦 0 - 4 勇志国際 (熊本)
- **バドミントン**
 神奈川県: 小田原アリーナ (8/15 ~ 18)
 男子団体 長野県選抜 (三浦涼太郎・林龍斗・
 山本海斗・須山セルソ和広) 1回戦敗退
 女子団体 長野県選抜 (上條楓果) ベスト16
 男子個人 三浦涼太郎 2回戦敗退

北信越高等学校定時制通信制総合体育大会

- 石川県金沢市 (10/19 ~ 20)
- **軟式野球**
 優勝
 長野県選抜 (古厩陸・野渡和也・古田恭琉・
 丸山真翔・落合勇斗・望月康宏・田中征輝)
 - **バスケットボール**
 男子 4位
 - **バドミントン**
 男女混成団体 長野県選抜
 (三浦涼太郎・上條楓果・福井夢華) 2位
 男子個人
 シングルス 山本海斗 2回戦敗退
 ダブルス 須山セルソ和広 3位
 女子個人
 ダブルス 塩原瑠華・伊藤凜 3位
 - **卓球**
 男子団体 長野県選抜 (永原健斗) 1位

中信高等学校定時制通信制秋季体育大会

- **バドミントン**
 男子個人
 三浦涼太郎 優勝 須山セルソ和広 2位
 山本海斗 3位
 女子個人
 伊藤凜 優勝 塩原瑠華 2位
 福井夢華 3位 渡邊希沙羅 4位
- **卓球**
 男子個人
 中村鴻太 優勝 永原健斗 2位
 矢満田優作 3位 重野大輝 4位

令和元年度 文化部活動成果

- **美術部**
 第73回松本学生美術展 (10/18 ~ 20) 出展
 雨宮麻未・大和修平・岡田美優・野田満優音・
 北島茉奈
- **書道部**
 第35回長野県高等学校書道展 (10/22 ~ 27) 出展
 古牧未来・寺沢悠斗・柳澤眞子・藤原妃道
- **写真部**
 写真甲子園2019 北信越地区予選準決勝 (5/22)
 第26回長野県高校写真展 (10/25 ~ 27) 出展
 (8名11点) 赤塚佑一朗・宮下大和・宇都宮拓磨・
 上條亜衣果・後藤岳哉・近藤光央・嶋田力久 (入
 賞候補)・上條楓果 (入賞候補)



「小さな楽しみ」
嶋田力久